

令和3年度行政事業レビューシート ( 法務省 )

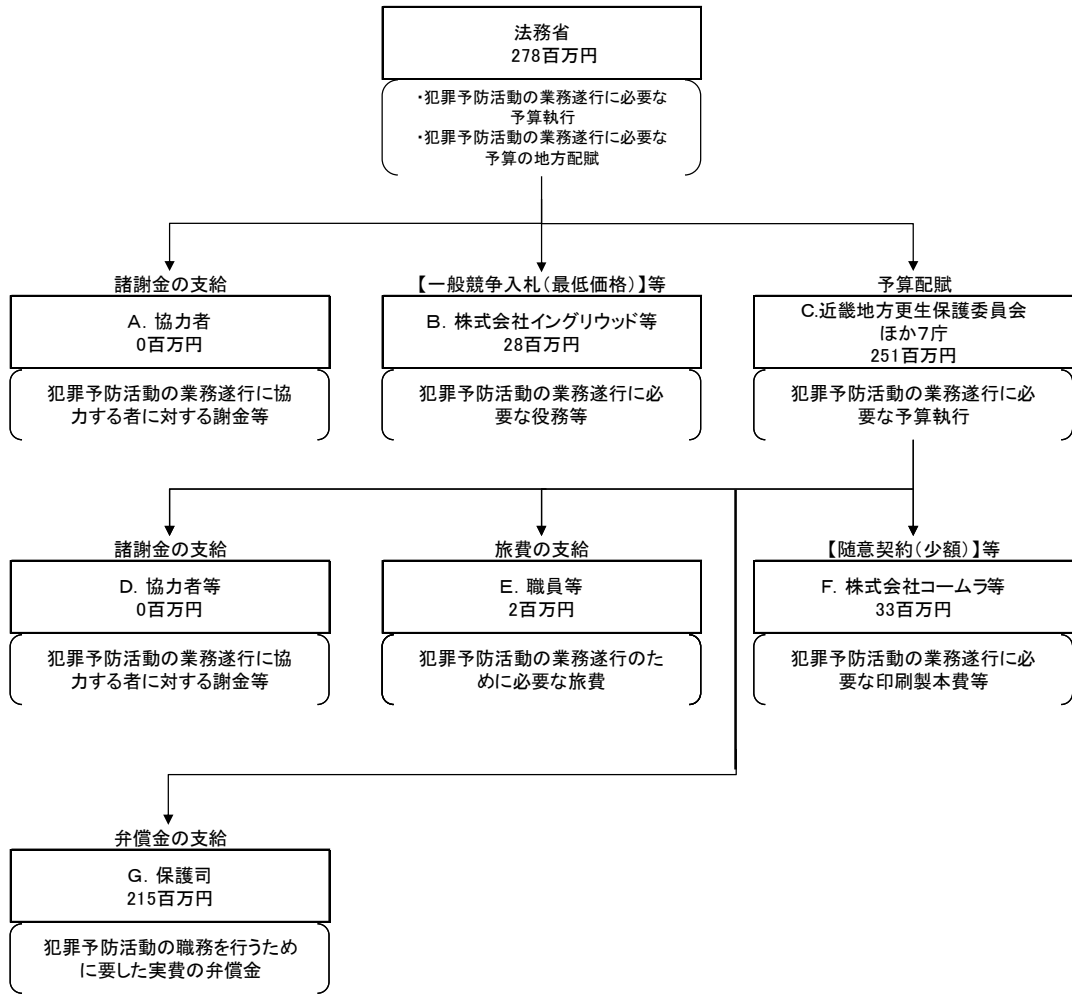
<b>事業名</b>	犯罪予防活動の促進			<b>担当部局庁</b>	保護局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	不明	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	更生保護振興課	更生保護振興課長 押切 久遠			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	更生保護法(平成19年法律第88号)第29条第2号ほか			<b>関係する 計画、通知等</b>	「「世界一安全な日本」創造戦略」等				
<b>主要政策・施策</b>	子ども・若者育成支援			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	犯罪予防活動の促進等を実施することにより、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築き、もって社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的としている。								
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	犯罪や非行のない安全・安心な地域社会作りのため、法務省等の行政機関、保護司、地域住民、自治体、企業等と協力して実施する犯罪の予防に資する各種の取組等を推進するもの。 なお、再犯・再非行の防止及び犯罪の予防を目的とした保護司(約5万人)による地域活動(街頭補導活動への参加、学校と連携した非行防止教室や作文コンテスト、事例を基にした地域住民との勉強会、非行相談等の地域の特色に合わせた諸活動)等が年間を通じて実施されている。								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	691	731	708	701			
		補正予算	-	3	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-				
		予備費等	-	-	-				
	計		691	734	708	701	0		
	執行額		613	514	278				
	執行率(%)		89%	70%	39%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		89%	70%	39%				
<b>令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	保護司実費弁償金	594							
	更生保護業務庁費	38							
	研修生旅費	29							
	褒賞品費	20							
	庁費	12							
	その他	8	0						
	計	701	0						
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>中間目標 3年度</b>	<b>目標最終年度 -年度</b>
	犯罪予防活動の参加人員を増加させる。	犯罪予防活動の参加人員	成果実績	人	3,288,710	2,969,544	577,047	-	-
			目標値	人	2,900,000	2,600,000	400,000	600,000	-
			達成度	%	113.4	114.2	144.3	-	-
<b>根拠として用いた 統計・データ名 (出典)</b>	“社会を明るくする運動”実施結果(法務省保護局調べ)								
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>3年度 活動見込</b>	<b>4年度 活動見込</b>	
	犯罪予防活動の実施回数	活動実績	回	57,996	73,880	27,256	-	-	
		当初見込み	回	61,000	59,000	59,000	30,000	-	
<b>単位当たり コスト</b>	<b>算出根拠</b>		<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>3年度活動見込</b>		
	執行額/活動実績(回)	単位当たり コスト	円	10,570	6,957	10,200	-		
		計算式	執行額/回 数		613百万円 / 57,996回	514百万円 / 73,880回	278百万円 / 27,256回	-	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	更生保護活動の適切な実施(Ⅱ-7)										
	施策	保護観察対象者等の改善更生等(Ⅱ-7-(1))										
	測定指標	定量的指標				実績値	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
							目標値	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)					
		犯罪予防活動の推進状況		国民に対して幅広く保護観察対象者の改善更生に対する理解と協力を求めるため、犯罪予防活動を推進する。		2	国民に対して幅広く保護観察対象者の改善更生に対する理解と協力を求め、犯罪予防活動への地域の関係機関・団体の参画を得るとともに、保護観察所や保護司と学校との連携を一層図るなどして、効果的な犯罪予防活動を推進した。					
							施策の進捗状況(実績)					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	<p>犯罪をした者及び非行のある少年の再犯又は再非行の防止と改善更生を目的とした保護司による地域活動や、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会作りのために法務省等の行政機関、地域住民、自治体、企業等が協力して実施する犯罪の予防に資する各種取組を推進する。</p> <p>犯罪予防活動を推進する手段として、毎年、法務省主唱の“社会を明るくする運動”において、運動の趣旨に賛同した官民の様々な機関・団体により構成される推進委員会(中央、都道府県及び市区町村等を単位として構成される。)によって、小中学生を対象とした犯罪予防をテーマとする「作文コンテスト」などの地域密着型の広報啓発活動及び更生保護への協力を求める活動等を実施している。</p>											
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-								
KPI (第一階層)		KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
							成果実績	-	-	-	-	-
						目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性          事業の効率性	項目					評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	犯罪予防活動は、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くためには、重要な事業であり、国民や社会のニーズを反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	犯罪予防活動は、保護観察等を実施する前提として不可欠なものであることから、国が実施すべきであり、かつ優先度が高い事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	同上					
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	一般競争入札を実施することにより、競争性の確保やコスト削減に努めているが、一部一者応札となったことから、公告期間等、入札手続において見直せる部分について見直し、引き続き競争性の確保に努めることとしたい。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。					有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	一般競争入札や一括調達を推進することによりコスト削減に努めており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-					
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	費目・使途については、本事業の目的に即したものに限定されている。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					○	一般競争入札の実施により、競争性が確保され、その結果、入札開差が生じている。						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					○	一般競争入札を実施することにより、競争性の確保やコスト削減に努めている。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に見合ったものになっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	おおむね見込みに見合った活動実績と認められる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
			-
点検・改善結果	点検結果	一般競争入札を実施することによって競争性の確保やコスト削減に努め、一層の経費削減を図るよう努める。	
	改善の方向性	職員の出張頻度等について、更に精査し、見直しを図るとともに、一般競争入札を実施することによって競争性の確保やコスト削減に努め、一層の経費削減を図るよう努める。	
<b>外部有識者の所見</b>			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
<b>備考</b>			
<p>平成24年度 公開プロセス実施(レビューシート番号0051)犯罪予防活動の実施</p> <p>○評価結果 抜本的改善</p> <p>○とりまとめコメント 「保護司による犯罪予防活動につき、保護司個人に一律の実費弁償金を支出するのではなく、例えば、シンポジウム開催等に直接補助するなど、その実費弁償金の在り方を抜本的に見直す必要がある。」</p> <p>○対応状況 保護司個人に一律の実費弁償金を支弁する方式から、保護司会が行う犯罪予防活動に要した経費を保護司会に支弁する方式に改めた。</p>			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成22年度	0055		
平成23年度	0051		
平成24年度	0051		
平成25年度	0038		
平成26年度	0030		
平成27年度	0029		
平成28年度	0028		
平成29年度	0028		
平成30年度	0028		
令和元年度	法務省 - 0029		
令和2年度	法務省 - 0031		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」に  
おいてブロックご  
とに最大の金額  
が支出されている  
者について記載  
する。費目と使途  
の双方で実情が  
分かるように記  
載)

A.個人A			B.株式会社イングリウッド		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
			雑役務費	LINEを利用した広報啓発宣伝業務	9
計		0	計		9
C.近畿地方更生保護委員会			D.個人A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	会計機関への予算配賦	59			
計		59	計		0
E.職員A			F.株式会社コムラ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
			印刷費	表彰状等の印刷費	0.7
			物品購入費	表彰状用紙購入代	0.5
計		0	計		1.2
G.保護司A			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	講師謝金	0	その他	-	-	
2	個人B	-	講師謝金	0	その他	-	-	
3	個人C	-	講師謝金	0	その他	-	-	
4	麹町税務署	-	所得税の納付	0	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社イングリウッド	5012702013389	LINEを用いた広報啓発宣伝業務	9	一般競争契約 (最低価格)	3	86.6%	-
2	株式会社アイネット	5010001067883	更生保護ボランティアパンフレット印刷費	7	一般競争契約 (最低価格)	3	78.5%	-
3	松本徽章工業株式会社	1010501012888	法務大臣表彰記念メダル製造業務	4	一般競争契約 (最低価格)	3	83.9%	-
4	松本徽章工業株式会社	1010501012888	クリスタルペーパーウェイト購入費	0.2	随意契約 (その他)	-	-	
5	松本徽章工業株式会社	1010501012888	多機能ペン購入費	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
6	トーコーコーポレーション株式会社	1010001122667	保護司記章製造業務	2	一般競争契約 (最低価格)	3	97.6%	-
7	株式会社第一印刷所	1110001002917	「社会を明るくする運動」広報用ポスター印刷業務	1	随意契約 (少額)	-	-	
8	株式会社大淵銀器	3010501001988	保護司特別功労賞及び略章製造業務	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
9	株式会社ヒップ	7011001055661	社会を明るくする運動の映像撮影等業務	0.5	一般競争契約 (最低価格)	11	32.3%	-
10	株式会社ヒップ	7011001055661	BBS会によるクラウドファンディング活用の動画制作業務	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
11	株式会社東京書技房	7010001099719	保護司感謝状等印刷業務	1	一般競争契約 (最低価格)	2	88.9%	-
12	株式会社東京書技房	7010001099719	賞状筒購入費	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
13	株式会社ライズ・ビデオ・エイティ	5013301013243	保護司等中央研修会の撮影、配信及び映像作成業務	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
14	一般財団法人法曹会	5010005003364	保護司等中央研修会会場借料	0.4	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	近畿地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	59	その他	-	-	
2	関東地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	49	その他	-	-	
3	九州地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	45	その他	-	-	
4	東北地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	32	その他	-	-	
5	中部地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	24	その他	-	-	
6	北海道地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	23	その他	-	-	
7	四国地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	15	その他	-	-	
8	中国地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	3	その他	-	-	

## D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	講師謝金	0	その他	-	-	

## E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
2	職員B	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
3	職員C	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
4	職員D	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
5	職員E	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
6	職員F	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
7	職員G	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
8	職員H	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
9	職員I	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	
10	職員J	-	犯罪予防活動の業務遂行 のために必要な旅費	0	その他	-	-	

## F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社コムラ	5200001001939	印刷製本費	0.7	随意契約 (少額)	-	-	
2	株式会社コムラ	5200001001939	表彰状用紙購入代	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
3	合同印刷株式会社	8010601011791	印刷製本費	0.7	随意契約 (少額)	-	-	
4	株式会社朝日印刷	3120901000067	印刷製本費	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
5	長野印刷商工株式 会社	9100001002233	印刷製本費	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
6	和歌山ターミナルビ ル株式会社	8170001003787	会場借料	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
7	田端印刷株式会社	4370001005536	印刷製本費	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
8	日本私立学校振興・ 共済事業団	6010005002596	会場借料	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
9	株式会社ミドリ印刷	3290001016906	印刷製本費	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
10	一般財団法人京都 府民総合交流事業 団	7130005003037	会場借料	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
11	株式会社阿部紙工	8380001000103	印刷製本費	0.3	随意契約 (少額)	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	保護司A	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
2	保護司B	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
3	保護司C	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
4	保護司D	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
5	保護司E	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
6	保護司F	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
7	保護司G	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
8	保護司H	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
9	保護司I	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	
10	保護司J	-	犯罪予防活動の職務を行う ために要した実費の弁償	0	その他	-	-	